

宇6 高架水槽等の外壁点検（AI等による画像劣化診断）

求める技術：⑦

1 課題を抱える業務の内容

水道施設の維持管理において、高架水槽や橋梁添架管の目視点検を実施しているが、すべての部分を目視点検する場合、足場や高所作業車などの仮設工が必要となり、費用が高額となる。

また、台風や地震等の災害発生直後の状況についても詳細な点検を求められており、簡易的な方法による詳細点検の実施が課題となる。

2 課題の詳細

ドローンのように仮設工を必要としないで、外壁等の様子を撮影することにより、費用の削減・業務の効率化に取り組みたい。この場合、撮影の結果を建築基準法等に沿って診断する必要があるが、AI等により高精度かつ効率的な診断結果が見込めるシステムが必要だと考えている。

3 こんな技術を求めています！

- ▷ ドローンのように仮設工を必要としないで外壁を撮影する方法
- ▷ 撮影した情報を記録して経年劣化の状況を確認できるシステム
- ▷ 撮影した画像を元にAI等による劣化診断ができるシステム

4 事業規模・業務量

災害発生時またはその直後
5年に1回